



はじめに

今年は、第二次世界大戦が終わって、六十五年目にあたります。戦争を体験された方もご高齢になられ、苦勞されたこと、お辛かったことを、若い世代へ伝える機会が少なくなってきました。私たちは、戦争のことを遠い記憶として忘れがちになってきています。

札幌市では、平成四年に、平和都市宣言を行って以来、戦争のない平和な世界の実現を願って、この宣言の理念を広く市民に普及・啓発するため、様々な事業を毎年実施してきました。

特に、平成二十年度からは、戦争を体験された札幌市民のお話を聴き取り、記録していく事業を、各区役所の主催でスタートしました。地域にお住まいの戦争を体験された方から直接、地域の子どもたちへ語り継ぐ事業です。

この本は、そのときに語られた、戦争の苦しみや辛さ、平和への想いなど札幌市民の貴重な体験談（平成二十年度分）を、次の世代の子どもたちへ伝えていきたいという思いから生まれました。

この体験談を読むことにより、より多くの子どもたちが、戦争の悲惨さを知り、平和の尊さについて考え、さらに次の世代へ、未来へと大切に語り継いでいってくれることを期待しています。

なお、ご協力いただいた語り部の皆様並びに監修いただいた西田秀子氏及び関係各位に、この場を借りて深く感謝申し上げます。

平成二十二年七月

札幌市長 上田文雄